

2024年2月8日

株式会社 四国銀行



地銀共同センターの次期勘定系システム基盤について

～ 国内初のオープン系共同利用型クラウド基盤「統合バンキングクラウド」の適用 ～

株式会社四国銀行（頭取 小林達司）は、次期勘定系システムに関して、株式会社NTTデータ（以下、「NTTデータ」）が2028年に提供予定のオープン系共同利用型クラウド基盤「統合バンキングクラウド」の利用に向け、地銀共同センター^{※1} 参加行とともに、取組みを進めていくこととしましたので、お知らせいたします。

記

1. 概要

当行を含む地方銀行13行からなる地銀共同センターでは、NTTデータと共に「オープン基盤」、「業務アプリケーション継承」、「コミュニティクラウド」の3つの基本方針に沿って次期勘定系システム基盤の検討を進めており、この度、国内初となるオープン系共同利用型基盤である「統合バンキングクラウド」上に勘定系システム基盤を適用・構築していくことといたしました。

これにより、より安心・安全なシステムを利用しつつ、オープン化による勘定系システムの軽量化を図るとともに、顧客接点やサービス等を拡充することで、お客さまに付加価値の高いサービスを提供してまいります。

この取組みは、MEJAR（メジャー）^{※2} との共同研究会「CMS-WG」の主要テーマである「勘定系システムの効率的運用」の実現に向けた取組みの一環であり、2024年1月に勘定系システムをオープン基盤に移行したMEJARの事例等も取り入れることにより、安全性の高いシステム移行を目指します。

2. 今後の予定

地銀共同センターの勘定系システムは、2028年に第一号となるオープン系共同利用型基盤「統合バンキングクラウド」の適用を目指し、引き続き、共同研究会「CMS-WG」の中で、勘定系システムに留まらない付加価値の高い共同利用型のサービス提供に向けた検討を継続します。

※1 地銀共同センター … NTTデータが構築・運営する、地方銀行・第二地方銀行向け基幹系共同センター。

参加行は以下の通り（利用開始および銀行コード順）

京都銀行、千葉興業銀行、岩手銀行、池田泉州銀行、愛知銀行、福井銀行、青森銀行、秋田銀行、四国銀行、鳥取銀行、西日本シティ等、大分銀行、山陰合同銀行

※2 MEJAR … NTTデータが構築・銀行が主体で運営する、地方銀行・第二地方銀行向け基幹系共同センター。

参加行は以下の通り（利用開始および銀行コード順）

横浜銀行、北海道銀行、北陸銀行、七十七銀行、東日本銀行、広島銀行（2030年度より共同利用予定）

以上